

平成19年度 幸区協働推進事業一覧

No		事業名	予算 (昨年度予算)	事業概要 (昨年度の実施概要)	主旨・目的
1 区民との協働による区づくりを目指して <9, 176千円>					
1	継続	まちづくり推進事業 (地域振興課)	3,737千円 (4,171千円)	第4期まちづくり推進委員会を立上げ、幸区のまちづくりに係る課題解決のため討議、実践を行う。 (第3期のまちづくり推進委員会は3部会で、「区民がつくるまちの防災力」(6,000部)、「親子で歩こう さいわい」(10,000部)の冊子の編集、歴史ガイドサイン(5箇所)の設置場所の検討などに取組んだ。)	区民が自らの地域について話し合い、具体的な取組を協議し、実践することで、身近な地域のまちづくりを進める。
2	継続	市民活動等支援事業 (地域振興課)	4,400千円 (3,726千円)	河原町団地内にある「幸市民協働プラザ」の運営管理及び、区役所において、印刷機や展示スペースなどの貸出しを行う。 (幸市民協働プラザの開設と区役所内のスペースchachachaの運営を行った。市民協働プラザの案内サインを河原町団地内に設置した。)	作業スペース、作業用具の利用を提供することなどにより、地域での様々の活動を支援する。
3	継続	幸市民協働プラザ発進事業 (地域振興課)	855千円 (715千円)	地域交流フォーラムの開催、さいわいタウンカフェ通信発行、ボランティアの育成事業を行う。 (平成18年9月に地域交流フォーラムを市民協働プラザで開催。「さいわいタウンカフェ通信」12月1日号と3月1日号を各10,000部発行。)	「幸市民協働プラザ」を拠点に、地域における様々な活動を支援するとともに、地域の課題解決のための取組を推進する。
4	継続	シニア地域活動推進事業 (地域振興課)	184千円 (316千円)	地域活動やITを活用することに意欲のある50歳以上のシニア世代の区民を対象に、パソコンの講座を実施する。受講者は、ITや講習会のネットワークを利用して、パソコン相談、訪問サポート等の地域活動を行う。 (平成19年2月22日～27日に講座を実施)	高齢になっても社会とつながりあえる区づくり・地域づくりを推進する。シニア世代を対象として、ITに親しんでもらうとともに、ITを使った地域活動への参加や様々な情報収集等、シニア活動の活性化につなげる。
2 豊かな心を育む地域文化の向上を目指して <10, 138千円>					
5	継続	音楽のまち推進事業 (地域振興課)	1,706千円 (2,300千円)	区役所庁舎内等での定期的なミニコンサートや区内での出張コンサートを行い、来庁者をはじめ、より多くの方に音楽に親しんでもらう。区民で構成する実行委員会が企画、実施する。区役所ロビーで6回、日吉出張所で2回、加瀬山で1回の実施を予定。 (区役所ロビーで6回、日吉出張所で2回、プラザソルで1回、計9回の「夢こんさあと」を実施 延べ1,398人が参加。ミュージアデッキでコンサートを4回実施した。)	区民が気軽に音楽に親しめる機会を提供する。音楽を通して幸区の魅力づくり、自分の暮らすまちへの親しみを育む一助とする。
6	新規	夢こんさあと10周年記念事業 (地域振興課)	1,564千円 (—)	平成9年から開催されている夢こんさあとが、平成19年9月で10周年を迎えることを記念して、ミュージア川崎シンフォニーホールにおいて記念コンサートを行う。平成19年8月31日に実施を予定。	区民が気軽に音楽に親しめる機会を提供するとともに、定例のコンサート時間帯とは異なる金曜日の夜に開催することで、区役所等でのコンサートには来ることができない人へも夢こんさあとの魅力を伝え、「音楽のまち」としての発信を行う。
7	拡充	さいわい街かどコンサート事業 (地域振興課)	1,208千円 (音楽のまち推進事業から拡充)	「音楽のまち・かわさき」のシンボルともいえるミュージア川崎のゲートプラザをはじめ、区内で多くの人が集まる場所を会場として、フリーコンサートを年3回実施する。	ストリートミュージックなど若い層を中心とした演奏者によるフリーコンサートを行い、だれもが気軽に音楽を楽しめる環境づくりを行う。
8	新規	さいわい区民音楽祭事業 (地域振興課)	1,233千円 (—)	市民館等で活動している音楽サークルや区内に立地する企業の音楽サークルなどを出演者とするコンサートを開催し、広く区民に音楽に親しんでもらう。平成20年3月15日に幸市民館大ホールを予定。	区内の音楽愛好家に演奏の機会を提供し、併せて区民に気軽に音楽に親しむ機会を提供する。また、これを契機として音楽を通じた横のつながりの構築、演奏機会の自主企画を目指し、音楽のまち川崎の広がりの一助とする。
9	継続	さいわいテクノ塾事業 (地域振興課)	2,158千円 (2,008千円)	青少年を対象に産業振興会館などでロボット工作教室等の科学技術体験講座を開催する。 (平成18年8月、9月に東芝科学館で小学生向けの科学実験教室を開催。平成19年3月に産業振興会館で小中学生向けのロボット工作教室を実施した。)	区内の研究開発設備及び関連教育機関を地域の資源として活用し、青少年(小・中学生、高校生)を対象とした科学技術体験講座を開催することにより、青少年の科学技術への関心や地域と当該施設との結びつきの強化を図る。
10	継続	さいわい動物愛護推進事業 (衛生課)	320千円 (805千円)	動物愛護のための講習会を2回実施する。啓発用の冊子2,000部を発行して動物愛護の取組を推進する。 (講習会を2回実施。啓発用冊子「ワンコからの手紙」(7,000部)を発行し、区内小学生等に配布した。)	動物愛護思想の普及啓発を推進し、こどもたちの心に命の尊さを育む。また、動物の適正な飼育管理について普及啓発を行う。

平成19年度 幸区協働推進事業一覧

No		事業名	予算 (昨年度予算)	事業概要 (昨年度の実施概要)	主旨・目的
11	拡充	地域資源を生かしたまちづくり事業 (生涯学習支援課)	1,449千円 (200千円)	地域の団体などが中心となって、団体の交流、環境学習、地域資源めぐりウォーキングを企画・実施し、ガイドスポット・標識の設置などを行う。 (ネットワーク形成に向けて、検討会を実施した。)	自然・環境・歴史・文化等の分野で活動している地域の団体などが、ネットワークをつくり、関係行政機関等と連携して、街資源を共有、活用した身近なまちづくりに取り組む。
12	継続	区の魅力づくり・魅力発信事業 (総務企画課)	500千円 (247千円)	区役所ホームページの「さいわいこどもページ」に夢見ヶ崎動物公園の動物や区内の花の名所などを紹介する「幸区の見所コーナー」の設置や地域資源の活用を図る事業を実施する。 (区民祭でフロンターレ親子フットサル教室、幸区出身選手との交流会を開催、健康づくりパネルを展示。平成19年2月の子育てフェアでトランポリンの中田大輔選手の親子体操教室を実施した。)	区内の地域資源を区民に知ってもらい、親しんでもらうとともに、幸区の魅力づくり・魅力発信を行う。

3 花と緑いっぱいのもちづくりを目指して <7,126千円>

13	継続	花と緑のさいわい事業 (地域振興課、建設センター)	7,126千円 (11,303千円)	公共花壇花植え事業、さいわい歩道橋緑化推進事業、緑化活動団体支援事業等の実施、あおぞら花市を開催する。 (「さいわい花クラブによる花植え、緑化活動のリーダー養成のための花壇づくりをテーマとした講習会を3回実施、あおぞら花市の開催(平成18年10月28日)、さいわい歩道橋下の花壇への花植え、さいわい歩道橋脇や南加瀬5丁目の県道への花壇設置等を行った。)	区民が行う緑化運動や花と緑に関する事業を推進し、支援するとともに、道路等管理用地の一部(未利用地)を有効活用し、緑化意識の高揚と明るい区づくりを図る。
----	----	------------------------------	-----------------------	---	---

4 区民に身近な区及び区役所を目指して <12,990千円>

14	継続	さいわいガイドマップ改訂増刷事業 (地域振興課)	1,071千円 (956千円)	平成14年度から作成している「さいわいガイドマップ」を増刷する。 12,000部作成する。 (ガイドマップ10,000部を作成し、配布した。)	転入者等に公共施設の一覧など、区の基本的な情報を提供し、幸区を知ってもらうとともに、区民の利便性を図る。
15	継続	区民に身近な区役所づくり推進事業 (区民課)	334千円 (3,991千円)	転入者歓迎用の封筒12,000部、区役所フロア案内10,000部を作成し、配布を行う。 (歓迎用封筒を10,000部発行した。区役所内の来庁者用イスや記載台等を整備した。)	窓口サービスの向上を図るとともに、来庁する区民が、身近に感じる区役所づくりを推進する。
16	継続	シンボルマーク普及事業 (地域振興課)	882千円 (930千円)	幸区町内会対抗女子バレーボール大会や子ども会少年野球大会等の各種スポーツ大会で区長杯のレプリカを贈呈するとともに、区民配布物等にシンボルマークの印刷を行う。 (幸区少年野球春季大会等で区長杯やシンボルマーク入りグッズを配布した。)	幸区のイメージアップを進めるとともに、区への親しみ、愛着を育む一助とする。
17	継続	幸区情報発信推進事業 (総務企画課)	966千円 (1,082千円)	区ホームページを視覚障害者の方も利用しやすい、わかりやすいホームページとするため改良を行う。 (わかりやすい区ホームページ作成に向けて職員研修を実施するとともに、ホームページをリニューアルした。)	区における情報発信強化を目指し、ホームページを使った効果的な情報サービスの提供を行うとともに、使いやすさを向上するため、視覚障害者等も利用しやすいページにする。
18	継続	区民広聴の拡充事業 (総務企画課)	1,386千円 (2,884千円)	アンケートを行い、区行政などへの意見を募集する。併せて、区民会議の取組み状況などを広報する。 (平成18年12月～平成19年1月に区内約64千世帯を対象とした区民会議についての広報とアンケートを配布。平成19年3月にアンケート速報結果などを約64千世帯に配布した。)	区民会議の取組などを区への取組について情報発信を行うとともに、併せて区民意見を募集することで、今後の区政の展開に役立てる。
19	継続	区内ガイドサイン改訂事業 (地域振興課)	704千円 (1,171千円)	矢向駅及び市立商業高校前に設置している案内板を改訂する。 (新川崎駅、鹿島田駅及び尻手駅にある案内板を改訂した。)	区内のガイドサインを改訂し、適切な地域情報を提供するとともに、来庁者への案内、誘導に役立てる。
20	継続	保健福祉情報発信事業 (地域保健福祉課)	3,565千円 (3,253千円)	「幸区役所保健福祉センターだより」を年2回作成し、区内全世帯に配布する。 (「幸区役所保健福祉センターだより」を上半期・下半期に作成し、区内約64千世帯に配布した。)	区民の生活に密着した保健福祉センターの業務を広報し、より多くの区民の利用を促進する。

平成19年度 幸区協働推進事業一覧

No		事業名	予算 (昨年度予算)	事業概要 (昨年度の実施概要)	主旨・目的
21	新規	幸区データブック事業 (総務企画課)	4,082千円 (—)	平成17年度国勢調査の結果を反映した人口、産業、土地利用などのデータ、歴史・文化・自然環境など幸区に関する状況を再整理した基礎資料を作成する。	地域の課題を発見して解決できる区役所づくりを進めるための基礎データを集約し、区民会議などにおける調査検討などに役立てる。

5 健康で安心な暮らしができる区づくりを目指して <6, 236千円>

22	継続	安全・安心まちづくり普及啓発事業 (地域振興課)	292千円 (431千円)	街頭キャンペーン、区民祭などで配布するチラシ・啓発物を作成する。啓発ポスターを作成し、各種団体・町内会・自治会を通して掲示する。 (街頭キャンペーン及び防犯教室を各1回実施。区民祭、消防フェアに啓発物を出展した。)	区民が、安全で安心して暮せるまちづくりを目指し、区民一人一人に、安全・安心に対する意識の高揚を呼びかける。
23	継続	交通安全の普及啓発事業 (地域振興課)	926千円 (504千円)	自転車ハンドル用の反射板を配布するとともに、区内全小学校で開催されている交通安全教室で使用するLED電動信号機と横断用マットを購入する。 (交通安全注意喚起の電柱幕を区内の危険箇所に設置)	交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で住みよい幸区の実現のため、普及啓発事業を実施する。
24	継続	さいわい健全で安全な食生活推進プロジェクト (地域保健福祉課、衛生課)	492千円 (725千円)	シンポジウムなどを開催するとともに、食品衛生上の注意点を掲載したリーフレット2,000部を作成し、配布する。 (食育講習会3回と食育シンポジウム1回を実施。啓発用冊子を4,000部作成した。)	生涯にわたって健全な心身を培うため、食育を推進し、また、高齢者の食中毒予防を図るため、食品衛生の指導・啓発を行う。
25	継続	8020小学生啓発プロジェクト (地域保健福祉課)	393千円 (393千円)	小学生の親子を対象に歯の健康教室を実施する。平成19年7月29日に実施予定。 (平成18年7月に歯の健康教室を実施、こども30名、大人24名が参加した。)	歯の健康は全身の健康に影響を与えるのものであり、豊かな人生を送るための基礎となるものであることから、小学生に口腔の健康の重要性を啓発する。
26	拡充	こども総合支援推進事業 (こども総合支援担当)	783千円 (2,126千円)	地域子育て支援センターふるいちばを毎月第3土曜日に開所するとともに、こども総合支援ネットワーク会議において、こども支援策を検討する。 (第3土曜日開所を年11回実施 参加者延べ1,595人。こども総合支援ネットワーク会議を年3回実施、情報紙を2回発行した。)	平成18年度に設置した「こども総合支援ネットワーク会議」の充実を図るため、中学生までを対象としたこどもの課題、支援策等を検討する。また、乳幼児の安全な遊び場の提供と父親の育児参加を支援する。
27	拡充	子育てフェア・情報発信事業 (こども総合支援担当)	2,844千円 (こども総合支援推進事業から拡充)	子育て情報紙を拡充して年3回各10,000部を発行するとともに、子育てフェアさいわいを実施する。平成20年2月16日に幸市民館で実施予定。 (「みんなで子育てフェアさいわい」を平成19年2月17日に幸市民館で実施。来場者421人)	地域の子育てを支援するため、ネットワーク会議の情報や区民ニーズに沿った子育て情報、子育て関係団体の交流、活動報告等を提供する。
28	継続	地域防災活動の推進(区民と共に災害を考える地域活動啓発)事業 (総務企画課)	506千円 (390千円)	講演会開催やパネル展示などを通して、避難所運営訓練などの重要性を周知して、区民と共に地域の防災活動を考える取組を行う。 (平成19年1月に防災フェアを幸市民館で実施(講演会約100人参加)した。)	地域の防災力を強化するとともに、区民に地域の防災活動への継続的な関心をもってもらい、活動への参加の重要性を啓発する。

6 その他 <9, 334千円>

29		共通経費	703千円 (715千円)	協働推進事業全般に係る経費	
30		まちづくり推進緊急対策事業	8,631千円 (9,360千円)	緊急的な事業に対応する経費 (防災フェアの実施、区民祭でのかわさきフロンターレとの交流イベント、地域交流フォーラム、健康づくりふれあい講演会など10事業を実施)	